

福島第一原子力発電所の状況

2015年8月3日
東京電力株式会社

<1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (8/3 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉圧力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 1.9 m ³ /h	27.8 °C	1.0 kPa g	A系： 0.00 vol%
		給水系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.4 m ³ /h	34.0 °C	5.88 kPa g	A系： 0.00 vol%
		給水系：約 2.1 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約 2.3 m ³ /h	31.5 °C	0.24 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約 1.9 m ³ /h			B系： 0.05 vol%

・2015/8/1 8月分の原子炉の冷却に必要な注水量について、1号機 1.7m³/h、2号機 2.1m³/h、3号機 2.1m³/hと定め、運用を開始。

<2. 使用済燃料プール(SFP)の状況> (8/3 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	31.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	30.9 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	28.8 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	26.6 °C

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルへヒドラジンの注入を適宜実施。

【3号機】・2015/8/2 3号機使用済燃料プール内からの燃料交換機の撤去にあたり、燃料交換機に油を内包している付属機器があるため、万が一、当該作業時に残存している油が漏れ、3号機の使用済燃料プール代替冷却系へ混入するのを防止する目的で、使用済燃料プール代替冷却系を 8/2 5:53 に停止。停止状態に異常なし。停止時のプール水温度は、28.2°C。その後、燃料交換機の撤去作業が終了したことから、同日 14:21 に使用済燃料プール代替冷却系を起動。同日 14:28 起動状態に異常のないことを確認。起動後のプール水温度は 28.5°Cであり、停止前とほぼ変化なし。

<3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	7/30 18:59 ~ 移送実施中
3号機	タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	8/1 14:15 ~ 8/2 21:52 移送実施

<4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (8/3 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転状 況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2	ホット試験中*2	ホット試験中*2

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

<5. その他>

- ・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。
2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- ・2015/5/27～ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽(フランジ型タンク)の解体作業を開始。
- ・2015/7/30 セシウム吸着塔一時保管施設第二施設に保管されているHICについては、6/17 に1回目の点検(水溜まり

の確認)を完了し、7/22より2回目の点検を実施中。

7/30時点で65基の点検が完了し、そのうち2基について、1回目の点検時に上蓋部に設置した吸水ブロックに水が染み込んでいることを確認。吸水ブロックに水の染み込みが確認されたHICは、1回目の点検にて水溜まりが確認されたHIC(30基)とは別のHICであった。また、セシウム吸着塔一時保管施設第三施設に保管されているHICについては、7/30時点で127基点検を実施し、新たに水溜まりが確認されたHICは認められていない。引き続き、HICの点検を行うとともに、原因調査を行う予定。

- 2015/8/1 10:56頃 モニタリングポスト(MP)2のダストモニタにて「警報(警報設定値: $1.0 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$)」が発生。警報発生時、すぐに指示値は通常値に復帰したことから、ダストモニタの検出器付近に塵などが付着し、ノイズが発生したものと考えている。なお、1号機原子炉建屋カバー解体作業、3号機原子炉建屋ガレキ撤去、フランジタンク解体作業および周辺での作業は本時間帯には行っておらず、近接するMP1・MP3のそれぞれのダストモニタに変動はない。
- 8/2 18:54頃 モニタリングポスト(MP)2のダストモニタにて「警報(警報設定値: $1.0 \times 10^{-5} \text{Bq/cm}^3$)」が発生。警報発生時、すぐに指示値は通常値に復帰している。ダストモニタの検出器付近に塵などが付着し、ノイズが発生したものと考えているが、8/1も同様の警報が発生していることから、機器的な異常も考えられるため、当該機器の交換を実施。なお、1号機原子炉建屋カバー解体作業、3号機原子炉建屋ガレキ撤去、フランジタンク解体作業および周辺での作業は本時間帯には行っておらず、近接するMP1・MP3のそれぞれのダストモニタに変動はない。
- 2015/8/1 14:47頃 協力企業より、「作業員が福島第一原子力発電所での作業を終え、帰宅のため事務所に立ち寄った際に体調不良を訴えた。その後、いわき市立総合磐城共立病院へ、救急車にて搬送され、搬送先の病院にて、同日12:59に死亡が確認された。」と連絡があった。作業との因果関係については確認中。
- 2015/8/2 3号機使用済燃料プール内からの燃料交換機撤去は、8/2 11:55に吊上げ作業を開始し、同日13:18に吊降ろし作業が終了。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。
- 8/4 3号機使用済燃料プールにおいて、燃料交換機の撤去作業が終了したため、使用済燃料プール内の調査を実施予定。

【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

- 2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
- 5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。
- 7/17 7:06～2015/7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
- 7/28～ 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。

【海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況】

- 【2号機】•2015/6/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約4,500m³の除去完了。
7/10 海水配管トレンチ内の充填完了。
- 【3号機】•2015/5/2～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。
7/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約5,500m³の除去完了。
- 【4号機】•2015/4/15～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

【地下水バイパス揚水井の状況】

- 地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。
- 地下水バイパス一時貯留タンクグループ2の当社および第三者機関による分析結果[採取日7/17]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。8/1 10:04より海洋への排水を開始。同日10:08、漏えい等の異常がないことを確認。同日17:05排水を停止し、異常がないことを確認。排水量は、1,747m³。

【1～3号機放水路の状況】

※1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。

<最新のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて】

<K排水路排水口のサンプリング実績>

- 前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。引き続き、監視を継続していく。

【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【タービン建屋東側の地下水調査／対策工事の実施状況】

<地下水観測孔サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】

<地下貯水槽サンプリング実績>

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上